

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Days・ぴーす（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	固定曜日での利用により周1回の利用であっても毎週違う活動にトライすることができる	課外活動、室内活動、運動、制作等、どれをとっても集団療育の中でルールを守り子ども同士が楽しんで過ごせるようにプログラム設定している	各活動のレパートリーを増やすこと、子ども同士でルールを決めチャレンジすること、専門職によるピンポイントの療育ができる工夫を考えプログラムの幅を広げている
2	特に低年齢の間は、年齢に合わせて小グループを作り同年代で活動することができる	同年代で活動することで、園や学校という生活の場を意識した療育を行っている 相手に言葉で伝える事の練習や活動内で体格による差が生まれないように意識している	園との連携を強化し活動内容やルールの確認し、可能な限り統一した療育を行うことで園で過ごす時の困り感の軽減に繋がるように工夫している
3	就学時に系列事業所へ移行できる	就学し放課後等デイサービスに移行する際に、同敷地内にある系列事業所に空きがあれば移行できる 就学という大きな環境変化の際にデイサービスは慣れた指導員の中、安心して通うことができる	・就学前1～2か月を放課後等デイサービスの児童と過ごす慣らしも行っているため、環境が変わってもデイサービスは安心できる場所になるよう工夫している

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者対象の研修等が行えていない	利用児童の受け入れをした状態で、保護者の受け入れを別に行う場合の人員や事業所の部屋数の確保が難しい	平日の午前中等になってしまうが、少人数からであっても開催に向けて検討していく
2	園との児童交流が行えていない	園とは支援者会議等を行っているが、参加者は保護者、先生、指導員となっていることが多い 平日の活動は園の終了後となる為、企画自体が難しいと考えている	保育園、幼稚園の午後の預かりの時間帯等に可能かを各機関に確認する
3	保護者への情報発信の少なさ	現在はHPのブログを毎日更新していること、イベント等については前月に紙媒体のお知らせにて周知している	HPの閲覧数が多くないことからまずは保護者への資地の拡大を図りたい SNS等の電子媒体による情報発信や連絡手段の導入検討を行いたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Days・びーす（児童発達支援）

公表日 2025年3月27日

利用児童数 37件

回収数 28件

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1		2	・中に入って子ども達の遊ぶ姿を見る機会がないのでわかりません。 ・活動と寝る場所が分かれていたり、年齢に合わせたスペースが確保されていて良いと思いました。	・今後、参観のような機会を検討します。 ・貴重なご意見ありがとうございます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2		3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1		4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2		3	・面談を通して子どもの事に対する悩み に合った支援が細かく行われていると思 いました。	・そのように感じて頂けて大変嬉しく思 います。いつでもご相談ください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1		1	・活動内容だけでなく支援内容のポイン トを詳しく教えて頂けると自宅でも参考 になります。	・貴重なご意見ありがとうございます。その活 動の目的やお子様にとってのポイント等も 伝えてできるよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26			2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	4	15		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	5	8	・夏祭り楽しかったです。	・今後も保護者様が一緒に参加でき、保 護者様同士が交流できるような企画を 検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	4			・帰りに指導員と毎回話すので共通理解 できていると思います。	・そう感じて頂き嬉しく思います。帰り に限らず、いつでも気軽にお話しくだ さい。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	6	6	9	・保護者同士の交流会がもしあれば、出 席してみたい。	・来年度は企画検討します。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	4		1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	3	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1		2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	1			・指導員がコロナに変わらぬので安心して通えています。	・今後もお子様にとって安心できる事業所になるよう尽力いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	3	1	1	・お迎えの連絡が来るとニコニコして玄関にむかったり帰ってきたら今日の事を話してくれる。	・お子様が楽しんで通って下さっているようでうれしく思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1			・色々な活動や日常生活の訓練も援助して頂き満足しています。	・今後とも満足いただけるよう尽力いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 Days・びーす (児童発達支援)

公表日 2025年3月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・児童数や活動内容によって配置が検討されている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・一日の予定、帰りの車など児童が目で見えて理解できるよう工夫している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・児発管を中心に周りのスタッフと話し合い業務の改善を行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・スタッフミーティングにて意見聴取り改善を図っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修参加機会が必修でもあったり、管理者から共有されている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・専門的支援の見立ても入れながら考慮、検討が行われている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・日々の支援記録を記載する際にも個々で確認できるようになっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			・児発管の立てる週案を元に活動プログラムを設定しているため、今後は職員を含めたチームで検討し設定できるように努めたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・同じ曜日、同じ週で活動が被らない様に設定している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・毎朝、当日の支援内容の確認等を行いお子様の受け入れを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・毎日、現場スタッフで振り返りを行い、翌朝のミーティングで全体共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				・研修やグループワーク、アドバイスを頂く等はしているが、スーパーバイズ等を受けるには至っていない
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○				・そのような機会を設けるには至っていない。今後は園との交流ができる機会を設けていきたい	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				・家族を対象とした研修等は行うことが出来ていないため今後検討していきたい	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・保護者間の交流の場を設けることはできていない。今後は茶話会等を検討していきたい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				